

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇昨年度の課題であった自律した学習に関連する共通指標「自分で計画を立てて勉強している」は課題が残ったが、「疑問や課題を解決するために、自分で方法を考えるようにしている」は肯定的な回答の割合が増えた。</p> <p>◇ICTを授業に利活用している教師の割合が増えた。</p>
	<p>◇授業における課題解決をはじめとする短期的な取組における自律的な学びの姿勢は伸びが見られた一方、家庭学習も含めた長期的な学習について、自律的な学びの充実が課題として考えられる。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
	<p>◇札幌市の共通指標の相互承認に関連する項目において、「自分が必要とされていると感じる」の1学年における肯定的な回答の割合が他学年と比べ低く、学年が上がるごとに割合が上昇している。一方、「人の役に立つ人間になりたいと思っている」の肯定的な割合は、どの学年も9割以上である。2つの項目で肯定的な割合に差異が生じる理由として「他者との適切な関わり方」に本校の課題があると考えられる。</p>
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力	
計画性をもって、自律的に学びに向かい、関わりによって学びを深める力	
取組	課題探究的な学習の推進 に向けて
	<p>◇「他律的な学び」から「自律的な学び」への推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師中心の授業から、生徒主体の学びへ転換。 ・ICTを活用した効率的な学習の工夫。 ・深い学びを実現するための生成AⅠの利活用。 ・「見通し」「個別探究・協働探究」「振り返り」のサイクルによる学習の深化。 ・対話と合意形成を重視した授業研究。
	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>◇「自律」・「他者尊重」・「新たな価値の創造」を活動の軸に据え、生徒が自ら目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力を養う。また、生徒による「自己選択・判断・決定」のプロセスを重視する。</p> <p>◇生徒の言葉で語る「山鼻中の伝統づくり」の推進を通して生徒がとらえる本校の強みと課題を把握（生徒会活動の基盤）し、伝統づくりの機運を高める。</p> <p>◇コミュニティ・スクールの仕組みを生かし、子どもの声を学校や地域活動の運営に反映する取組の具体化を図る。</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について	
	<p>◇自らの学びを実感し、次の学びへの見通しを立てるためのフィードバックの工夫（自治的活動）</p> <p>◇「学びの伴走者」としての生成AⅠの活用…教科における実践研究と「深い学び」の実現（課題探求）</p>

<本プログラムの実行に向けて>

